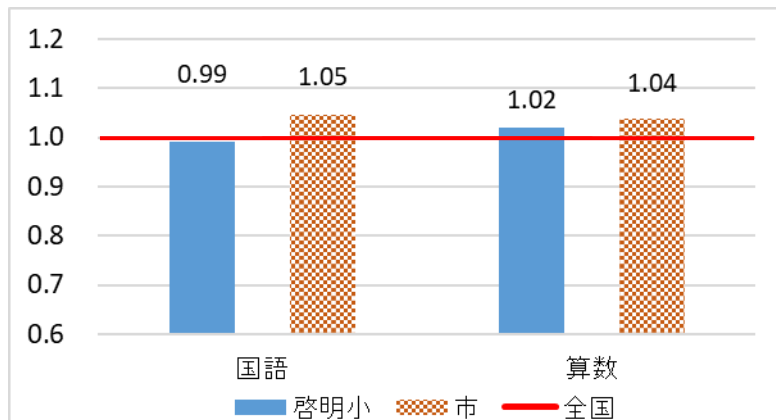


# 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第九中学校区 啓明小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

## 【国語】

「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」領域の「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題が全国平均を上回る結果であった。引き続き、授業の中で、伝えたい内容を整理して書く学習活動を大切にしてい

## 【算数】

「図形」領域の問題が全国平均を大きく上回っている（+6.0）また、「二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く」「30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く」で全国平均を+6.7上回る結果であった。求め方やその理由を記述する力が高く、引き続き求め方や考え方を見通す・説明する・振り返る活動を大切にしてい

## 【質問紙調査】

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に肯定的に回答した児童の割合が全国平均を+5.0上回る結果であった。これは、学校全体で、授業や行事毎に肯定的な声かけややりがいのある場面設定をし、達成感を持つよう進めてきた結果だと考える。

「国語・算数の勉強は好きですか」「国語・算数の勉強は大切だと思う」の肯定的回答が増加傾向にあり、引き続き、教員の授業力向上とともに、児童が学習を大切に思う意識の醸成を進めてい

○学力向上の取組

## 【中学校区】

校区として話を正確に聞く力・自分の思いや考えを話す力を大切に取り組んできている。そのため、昨年度に引き続きディベート教育を中心として、話す力・聞く力を身につけ、論理的・客観的・多角的思考力を培い、考える力の育成を進めている。

寝屋川方式の学習方法を基に、学習規律の徹底を校区教員で進め、小中9年間で一貫した指導を進めていくことで、児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、がんばっている姿・良いところを褒めて、自己肯定感を高めている。

## 【学校】

寝屋川スタンダードを元にした学習規律が定着してきており、児童の授業に向かう姿勢が前向きで意欲の向上が見られる。算数を研究教科とし、問題を解く際に、問題文から見通しを持つ・既習事項を活用する・読み取れる内容などメモをすることで、問題を理解することを授業の中で進めている。また、教科にかかわらず、学習活動の中に、自分の考えを表現する場面・他者の意見を聴く場面・学び合う場面、そして、まとめを書き振り返る場面を保障することで、学習の習得を効果的に行っている。